

算数科教育部会

I 研究の内容

県テーマ「子どもとつくる楽しい授業の創造」

1. 東山支部テーマ「楽しく学び，高め合う算数学習をめざして」

- 作業的・体験的な算数的活動を重視する
- 数学的表現を通して，子ども同士が関わり合う場（授業）を工夫する

2. テーマ設定理由

- (1) H24 の《来年度にむけて》部分にあるように（H24 第 10 回算数部会レジュメ参照）によると『今年度と同じテーマでいかがでしょうか。今年度は、子ども同士がかかわり合いながら高める場をたくさん見せていただき，本当に勉強になりました。』とある
- (2) 小学校学習指導要領では，算数的な活動の充実や数学的思考力・表現力と算数を生活の中で活用しようとする態度の育成が示されている。もちろん本部会もこの主旨にしたがうべきである。
- (3) 教具の工夫や思考の場を設定することで，学びを高めたい。

3. 研究内容（経過）

- 第 1 回 5 月 8 日 部長選出，山梨支会甲州支会代表決定
- 第 2 回 5 月 15 日 春の県教育研究集会報告，授業者決定，年間計画
- 第 3 回 6 月 5 日 テーマ確認，秋の県教育研究集会提出レポート確認
- 第 4 回 8 月 5 日 学習会（県社会教育課 小林みずほさん）
教材づくり学習会①
- 第 5 回 8 月 30 日 数学部会授業研究 山梨南中 原谷真仁さん
- 第 6 回 10 月 2 日 学習会（山梨大附属小 角田大輔さん）
教材づくり学習会②
- 第 7 回 11 月 27 日 秋の県教育研究集会の報告
2/5 の 4 年生「立方体と直方体」授業案検討①
- 第 8 回 1 月 15 日 2/5 の 4 年生「立方体と直方体」授業案検討②
- 第 9 回 2 月 5 日 算数部会授業研究 勝沼小 興石晴美さん
「立方体と直方体～展開図を書く～」
- 第 10 回 2 月 12 日 研究のまとめ，次年度への課題

Ⅱ 成果と課題

1. 成果

- (1) 作業的・体験的な算数的活動を各自の授業に積極的に取り入れるための引き出し作りができた（レポート作成のため、実際に紙とえんぴつをもち、手を動かした）。
- (2) 講師を呼んで、授業ネタを披露していただいたり、先行実践を紹介していただくなかで、まずはマネから入り、自分の武器のひとつに育てるきっかけ作りをした。
- (3) 4年生の「立方体と直方体～展開図～」の授業案を検討する中で、空間図形の難しさや2年生での「はこのかたち」の経験・体験が大事であることを再確認した（実生活での立方体や直方体の存在、組み立て・分解経験の有無）。

2. 課題

- (1) 数学的表現は、短時間に身につく物でなく、毎日の授業での用語などの取り扱いが結果に出る。意識した毎日が課題になる。
- (2) 日々の教材研究の必要性（時間と意識）
- (3) 部員減少（授業者や部会責任者が固定しがちになる。）15～20人以上の部員がほしい。

Ⅲ 成果物

物としては、特になし

（部長代理 町田 信次）